

総合型入試〔プレゼンテーション型〕よくある質問

総合型入試〔プレゼンテーション型〕について

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕について教えてください。

【人文学部キリスト教学科】

A キリスト教学科は、世界の多くの人々の精神的基盤となっているキリスト教を学問的視点から学び、おもにキリスト教文化圏に対する異文化理解を深める学科です。「人間の尊厳のために」という南山のモットーを体現して社会に貢献できる人を育てたいと願っています。総合型入試〔プレゼンテーション型〕【人文学部キリスト教学科】においては、プレゼンテーション、面接、小論文を通じて、論理的思考力や表現力を評価します。この入試については、受験生の皆さんが本学科の教育目標やカリキュラムを十分に理解した上で志願されることを期待しています。

【人文学部人類文化学科】

A プレゼンテーションは、人類文化学科での学び（④文化人類学、⑤考古学、⑥哲学、⑦言語学のいずれか）に関する具体的なトピックを選び、それについてあらかじめ調べ、自分の考えをまとめた資料を準備してもらいます。その資料に基づいて口頭（日本語）で行ってください。プレゼンテーション、質疑応答を通じて、論理的思考力や表現力、志望する学問分野の知識の程度を評価します。また、本学科において勉学する目的の明確さや適性についても評価します。

【経済学部】

A 入学試験要項 p22 にある「総合型入試〔プレゼンテーション型〕【経済学部】について」をご覧ください。

【総合政策学部】

A 総合政策学部では、南山大学の建学の理念に基づく「人間の尊厳のために」（Hominis Dignitati）という教育モットーを踏まえつつ、文明論と政策論を中心に修め、政策立案および運用において、幅広い視野と実践力を備えた、リーダーシップを持つ人材を育成します。総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】においては、こうした実践的活動のリーダーを目指す受験生を、第1次審査では志望理由書、自己推薦書等の書類審査、第2次審査ではプレゼンテーション、口頭試問や小論文の審査を通じて評価します。この入試については、受験生の皆さんが本学部の教育目標やカリキュラムを十分に理解した上で志願されることを期待しています。

【理工学部】

A ①コンピュータ、機械、通信などの技術とその数理的な説明について関心を持ち、それらを主体的に学ぼうとする意欲を持つ人、②大学院への進学に興味と意欲を持つ人、を募集する入試です。入試では、プレゼンテーション、質疑応答、小論文などを通じて、論理的思考力や表現力を評価します。入学後は、その主体性や思考力・表現力を発揮して、PBL 実践演習、各学科の演習、卒業研究などで優秀な成績を収めることを期待します。なお、この入試による入学者は、理工学部の早期卒業制度に推薦し、これによって大学院理工学研究科博士前期課程への進学を奨励する予定です。

【国際教養学部】

A 国際教養学部においては、異文化の他者との相互理解を促進し、グローバル化の進展に対応するために、国・地域の枠を超え、多元的価値観を重視した国際教養学教育を行います。総合型入試〔プレゼンテーション型〕【国際教養学部】においては、プレゼンテーション、面接、小論文などを通じて、論理的思考力や表現力（日本語および英語による）を評価します。学力試験の結果のみで合否を判定

する一般入試等も実施しますが、この入試については、受験生の皆さんが本学科の教育目標やカリキュラムを十分に理解した上で志願されることを期待しています。

.....

出願資格について（『入学試験要項 総合型入試「出願資格」）

Q 外国人でも受験できますか。

A 出願資格を満たしていれば、受験することは可能です。

Q 社会人でも受験できますか。

A 受験に関して年齢の上限はありません。出願資格を満たしていれば、どなたでも受験することは可能です。

Q 南山大学の他学部・他学科の総合型入試と併願できますか。

A 本学総合型入試において出願できるのは1学科のみです。複数学科、複数の総合型入試の型への併願はできません。大学および学部・学科のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、出願する1学科を選択してください。

Q 南山大学の他の入学試験において、他学部・他学科との併願はできますか。

A 可能です。また、他の入学試験を再度受験することも可能です。

Q 他大学との併願はできますか。

A 可能です。

Q 出願する条件として、【調査書】の学習成績の状況の基準はないのでしょうか。

A 調査書の学習成績の状況については、出願基準としては設けていません。調査書と各審査の結果に基づき、総合的に可否を判定します。ただし、理工学部は特に数学の学習成績を重視します。

Q 【総合政策学部】「留学やNGO・NPO活動、様々なボランティア活動や社会活動など、現場での実践的活動に積極的に取り組んできた人」とありますが、どのようなものが出願資格に該当しますか。

A 活動の回数や期間について、特に条件はありません。学校内で企画された活動も含まれますが、重要なのは、自分自身の意思でどのように主体的に取り組んだかという点です。また、その活動を通じて得た経験や学びを、書類やプレゼンテーションにおいて表現し、アピールできるかが重要となります。

Q 【理工学部】必ず大学院へ進学する者しか出願できませんか。

A 現時点で大学院への進学に興味と意欲を持っていれば結構です。

.....

出願書類の準備について（『入学試験要項 総合型入試 [プレゼンテーション型] 』「出願書類」）

Q 志望理由書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

【人文学部キリスト教学科】

A 入学試験要項 p22 を踏まえた上で、本学科を志望する理由を記述してください。

【人文学部人類文化学科】

A 本学科への志望理由に加え、本学科での学びに関連してあなたの関心のあるテーマやトピックについてあなたの考えを記述してください。本学科において勉学する目的の明確さや適性について評価します。また、文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価するとともに、本学科において勉学するために必要な基礎学力についても評価します。

【経済学部】

A 入学試験要項 p24 にある「出願書類」をご覧ください。

【総合政策学部】

A 本学部を志望する理由を記述してください。また、最も関心のある現代社会の問題について、その理由を含めて書いてください。

【理工学部】

A 本学部の学科を志望する理由を記述してください。また、本学部での学びに関連して関心のある科学技術についても記述してください。例えば、スマートフォンなどのソフトウェア、クラウドサービス、人工知能や機械学習、5G などの通信ネットワーク、情報セキュリティ、IoT、ロボット、自動運転などが挙げられるでしょう。

【国際教養学部】

A 入学試験要項 p23 を踏まえた上で本学部を志望する理由を日本語または英語で書いてください。

Q 自己推薦書にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

【人文学部キリスト教学科】

A これまでの顕著な活動について、そこから得られたことを含め、アピールしてください。

【人文学部人類文化学科】

A 本学科が求める人物像に言及してください。これまで行った顕著な活動について、そこから得られたことも含め、記載してください。自己の能力を証明する資料は、ドイツ語検定、フランス語検定、中国語検定などのほか、文部科学省が後援している人文学系のコンテストでの受賞歴などを提出してください。

(参考：<https://www.blog.studyvalley.jp/2022/01/25/award/>)

【経済学部】

A 入学試験要項 p24 にある「出願書類」をご覧ください。

【総合政策学部】

A これまでの顕著な活動について、そこから得られたことを含めアピールしてください。

【理工学部】

- A あなたがこれまで行った顕著な活動について、そこから得られたことも含め、科学技術・数学・物理学を活用した探究・調査活動やものづくりの活動などに関連づけて記載してください。例えば、数学オリンピック、ハッカソン、ロボットコンテスト参加、文化祭で情報技術を活用した出し物、部活動などでデータを活用した練習計画の策定などが挙げられるでしょう。

【国際教養学部】

- A これまでの顕著な活動について、そこから得られたことを含め、日本語または英語でアピールしてください。

Q 資格の証明書など、自己の能力を示す資料を提出することはできますか。

- A 自己推薦書に関する資料がある場合は、その写し（A4 サイズ）を第1次審査の出願時に併せて提出してください。

Q 途中まで日本の高校に通い、その後外国の高校に転入し卒業した場合、どのような書類を提出すればよいでしょうか。

- A 複数の高校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高校から発行を受けて提出してください。成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。

Q 外国の高校を卒業した場合、提出する書類で気をつけることはありますか。

- A 書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身高校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。なお、出願書類は、すべて原本（オリジナル）の提出が原則です。原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明（原本証明）を出身高校等から受けた後、提出してください。

Q 高校の推薦書の提出は必要ですか。

- A 推薦書の提出は不要です。

出願書類の提出について（『入学試験要項 総合型入試』「出願手続方法」）

Q 出願はインターネットで行うのですか。

- A 第1次審査の出願はインターネットを使用する Web 出願です。要項をよく確認の上、出願登録および入学検定料の支払い手続をし、出願期間内に出願書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に出願書類を送付しない場合や、出願書類に不備がある場合は、出願が無効となります。

第2次審査の出願については、入学検定料は銀行窓口での支払いになります。第1次審査合格発表時に合格者のみにお知らせする案内も参照してください。

審査内容について（『入学試験要項 総合型入試 [プレゼンテーション型]』『審査および第1次審査合格発表』）

Q 第2次審査の小論文ではどのような能力が評価されますか。

【人文学部キリスト教学科】

A キリスト教に関する知識と理解、文章の読解力、自分の見解を表現する能力が評価されます。

【人文学部人類文化学科】

A 文章による表現力や論理的思考力、判断力を評価します。また、その基となる知識の程度についても評価します。

【総合政策学部】

A 課題文や図表等の資料を参照したうえで、各設問に対して指定された文字数（計1000～1200字程度）で論述してもらいます。つまり、文章やデータの読解力、それを論理的に説明する思考力や表現力が評価されます。

【理工学部】

A 数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cを含め、学科での勉学に必要な基礎学力を問います。また、論理的な思考能力を問うため、800字程度の論文を課します。

【国際教養学部】

A 社会や文化に関する文章を読み、日本語と英語で要約する能力、および自分の意見を表現する能力が評価されます。

Q 面接・質疑応答・口頭試問ではどのようなことが質問されますか。

【人文学部キリスト教学科】

A 志望理由、関心がある事柄、これまでの取り組み、将来の展望などが質問されます。

【人文学部人類文化学科】

A プレゼンテーションの内容に関することを中心に、本学科において勉学する目的やどの領域のどういうことを勉強したいかに関しても質問します。

【総合政策学部】

A 口頭試問では、志望理由書、自己推薦書、およびプレゼンテーションの内容について掘り下げた質問を行います。

【理工学部】

A プレゼンテーションの内容に関して、その課題を選んだ理由や、問題設定の是非、議論の妥当性や、結論の意義などについて、質問します。志望理由書、自己推薦書の内容についても質問します。

【国際教養学部】

A 志望動機やこれまでの取り組みと、それがこれからのキャリアプランやライフプラン、国際教養学部での学びにどのようにつながっていくかなどが質問されます。また、個人面接は日本語および英語の両方で実施します。

Q プレゼンテーションの順番はいつわかりますか。

A 試験当日に面接控室の掲示で確認してください。

Q プレゼンテーションは1人あたり10分（経済学部のみ1人あたり20分）とありますが、多少時間が延びてもよいのでしょうか。

A 審査の公平を期するために、定められた発表時間を守ってください。

Q プレゼンテーションの時間には、パソコンなどを準備する時間も含まれますか。

A 準備の時間はプレゼンテーションの時間とは別に設けられます。

Q プレゼンテーションの際に、パソコンを使ってもよいでしょうか。また、プロジェクターは用意してもらえますか。

A 発表用に、パソコン（Windows 内蔵）や一般的なプロジェクターなどはこちらで用意します。ただし、特別なパソコンやプレゼンテーションソフトを利用する場合は、機器等を自分で用意することになります。なお、発表のスタイル・機器については、第1次審査合格者に対し別途問い合わせます。

Q 第2次審査では、どのようなプレゼンテーションを行えばよいでしょうか。

【人文学部キリスト教学科】

A これまでに取り組んできた活動、勉強、体験などについて、そしてこれから取り組んでいきたい活動、勉強、経験などについて、よく整理して分かりやすく述べてください。

【人文学部人類文化学科】

A 人類文化学科での学び（①文化人類学、②考古学、③哲学、④言語学のいずれか）に関する具体的なトピックを選び、それについてあらかじめ調べ、自分の考えをまとめた資料を準備してもらいます。その資料に基づいて口頭（日本語）で行ってください。

【経済学部】

A 入学試験要項 p29 にある「小論文・プレゼンテーションの概要」をご覧ください。

【総合政策学部】

A これまでに取り組んできた社会活動やボランティア活動などの実践的活動についてプレゼンテーションを行ってください。

【理工学部】

A 数学、情報、物理の教科書の発展・課題学習や探究活動などの欄で紹介された課題について、またはこれらの教科に関する自分で選んだ課題について、10分のプレゼンテーションを行ってもらいます。その後、10分の質疑応答を行います。

Q 第1次審査で合格した後、第2次審査の出願を取りやめることはできますか。

A 可能です。第2次審査の出願期間に手続きを行わなかった場合、出願を取りやめたものとみなします。

Q 【総合政策学部のみ】外国語でプレゼンテーションを行ってもよいでしょうか。

A 英語は認めます。ただし、総合政策学部の総合型入試は基本的に日本語を母語とする受験生を対象とするものなので、志望理由書や自己推薦書は日本語のみの記載としています。いずれにしても、書類審査とプレゼンテーションはその内容によって評価しますので、英語でのプレゼンテーションが必ずしも評価が高くなるということはありません。

Q 【国際教養学部のみ】プレゼンテーションは、英語と日本語のどちらを選んだ方がよいでしょうか。

A 自分の秀でた能力をアピールできる言語を選んでください。

Q 昨年度（2026年度）の入試結果を教えてください。

A 入試結果は以下のとおりです。

| | 第1次審査 | | 第2次審査 | |
|------------|-------|------|-------|------|
| | 志願者数 | 合格者数 | 志願者数 | 合格者数 |
| キリスト教学科 | 7 | 7 | 5 | 4 |
| 人類文化学科 | 20 | 17 | 13 | 11 |
| 経済学科 | 22 | 18 | 16 | 10 |
| 総合政策学科 | 58 | 40 | 36 | 19 |
| ソフトウェア工学科 | 11 | 11 | 11 | 9 |
| データサイエンス学科 | 10 | 10 | 7 | 6 |
| 電子情報工学科 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 機械システム工学科 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 国際教養学科 | 54 | 34 | 28 | 24 |

Q 総合型入試【プレゼンテーション型】で不合格になった場合でも、南山大学の学校推薦型選抜や一般選抜を受けられますか。

A 不合格になった場合でも、本学の学校推薦型選抜や一般選抜（他学部・他学科を含む）を受けることができます。その際、この試験を受験したことは有利にも不利にも働きません。

Q 入学手続きの延期はできますか。

A 入学手続きの延期はできません。所定の期間に手続きを行わない場合、入学の意思がないものとみなします。

Q 総合型入試【プレゼンテーション型】に合格し入学手続きをした後、南山大学の他の学科に合格した場合、学科を変更することができますか。

A 学科を変更することは可能です。新たに合格した学科の入学手続き時に、所定の手続きを行ってください。

Q 合格してから入学までに行う課題はありますか。

A 入学手続きを完了した方は、大学入学後の活動に備えて、本学が準備する課題に取り組んでください。課題は、別途、合格者にご案内します。